

構造物点検の作業手順



内 容	留 意 事 項
作業内容の確認 作業人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検	指示書の内容確認 安全作業指示書による 作業別安全チェックシートの活用。 安全装置の確認
点検用の高所作業車を設置する。高所作業車の代わりにビデ足場を使用する時もある。	作業車の設置は、平坦な場所に必ず敷き板を使用しアウトリガーを成るべく一杯まで張り出す。ビデ足場は、トラックへの固定を確実に行うこと。有資格者による、機械作業を行う。
点検を行う、構造物の点検箇所を、それに適した点検方法にて正確に点検し記録する。 打音点検・・・点検ハンマーを使用し細かくたたき、打音によって区体の状況を判断し、浮いている箇所は、チョーク等でマーキングし記録する。	異常箇所が発見されたときは、直ちに関係部署に報告し指示を仰ぐ。 作業に合った保護具を使用する。 安全帯は、絶対に使用する。 点検用具の落下防止を確実にを行う。
使用した道具、機材をトラックに積み込み、最後に竹ぼうき等で清掃を行う。	使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。
点検記録に基づき、点検後の調書の作成を行う。 終礼の実施	点検記録からの転記の間違いが無い様に注意する。 ヒヤリハットの実施

注意事項

有資格者による、機械作業を行う。
 機械設置個所の安全確保を確実にを行う。
 作業に合った保護具を使用する。特に安全帯は、確実に使用する。